

令和6年度 第1回 学校運営協議会

1 日 時 令和6年5月1日（水）午前9時30分から11時30分まで

2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校

3 参加者

○学校運営協議会委員

氏 名	所 属 等
佐藤 政範	四日町区長
山本 能久	寺家区長
大塚 広典	東レ株式会社三島工場 労務課 課長
花村 康太	株式会社トーホー 代表取締役
大西 邦明	旭化成ファーマ株式会社 総務企画部 部長
村上 昇男	伊豆市観光協会 事務局長
川島 庸	伊豆の国特別支援学校 P T A会長

○学校教職員

職 名	氏 名	所 属 等
校 長	松本 仁美	
副校長	勝又 将也	
教 頭	井上 みづほ	
事務長	鈴木 健夫	
部主事	渡邊 康子	小学部
部主事	神田 光紀	中学部
部主事	岩谷 俊宏	高等部
教 諭	廣 和子	教務課長 小学部
教 諭	神戸 優輔	防災安全課長 中学部
教 諭	末益 美佐	進路指導主事 高等部

4 内 容

開会

挨拶

- (1) 学校運営協議会委員任命
- (2) 自己紹介
- (3) 本校の防災について
- (4) 学校運営協議会の目的について
- (5) 本校の概要説明
- (6) 校内見学

休憩

- (7) 学校経営計画の説明と承認
- (8) 教育長メッセージについて

- (9) コンプライアンス委員会
次回以降の会の開催について
その他連絡事項
閉会挨拶

5 議事録

校長 ・ 本校…いい場所にこんな大きい学校があること、学校の様子を知ってほしい。
伊豆松崎分校、伊豆下田分校含めて伊豆の国特別支援学校の応援をお願いしたい。1年間よろしくお願いします。

(1) 学校運営協議会委員任命

(2) 自己紹介

(3) 本校の防災・防犯対策について説明（防災課長 神戸より）
避難訓練見学、参加依頼 自助だけでなく共助につなげたい。
地域の方とのつながりを持ちたい。

(4) 学校運営協議会の目的について（校長より）
コミュニティスクールの説明、協議会委員任命による権限と守秘義務について
地域とともにある学校づくり、より良い学校づくりのために

(5) 本校の概要説明（校長より）
知的障害の児童、生徒が通う学校。隣の東部特支とは違い、基本的には体は元気な子どもたちだが、医療的ケア3人。学部・学年所属一覧より職員の特徴。学区説明、三島の児童、生徒が6割。
学校経営計画書より重点目標説明、なぎのはプラン、静岡県の特例支援教育について

(6) 校内見学の感想

委員 ・ 機能的につくられている。廊下の広さと明るい校舎。「楽しそう」が伝わってくる

委員 ・ 清掃が行き届いている。生徒が清掃？←生徒と実習支援員が行っている。
さすまたの前に物が置いてあるのが気になった。調理室の冷蔵庫の転倒防止は？
長尺のロッカーの上に物を置くと地震のときに物が飛んでいくので危険。
(製造業目線)

委員 ・ 先生方の工夫の努力（1人2人の子どもに対してそれぞれ教材）に関心。準備に時間を費やしているのでは？と感じた。

委員 ・ 田方分校見学経験あり。伊豆の国特支は初めて見た。周辺の学校とのつながりは知れたが、近隣の商工会と共同でできるものはないか。学校側からもっと高等部製品などを外に出す努力をしてもいいのでは？商工祭にブースとして出店するとか。

- 委員 ・学校の運営に関わることは初めて。子どもたちに関わっている人が元気で笑顔と
感じた。個々の教材を工夫して作ったり使ったりしているが、先生たちの負担に
なっていないか気になった。教材作成にかかる費用や時間は学校で確保されてい
るのか？

【先生方の努力を報いるために…】

- 委員 ・弊社では「いいね！」を送り合う。持ち分は 1 週間で 400P。いい教材を作成し
た、参考にしたい、他の人が分からないことをやってくれた、などを見つけた時
に「いいね！」を送り合ってもモチベーションにつながるのでは？
- 副校長 ・教員は頑張っていることのアピールが下手。また職員の人数も多いので色々なタ
イプがいる。残って仕事をする人が多い。
- 委員 ・全然知り合わなかった人でも「いいね！」ポイントをくれた人、たくさんもらっ
ている人を見に行ったりする。そこで知り合うこともあり、コミュニティが広がる。

(7) 学校経営計画の説明と承認（校長より）

- ・学校経営計画の承認を得られた。

(8) 教育長メッセージについて（校長より）

- ・教員の多忙化、働き方改革（本校は先生たちの帰りが遅い。）

＜本校の取組み＞

- ・定時退勤日の設定。授業時数の削減。行事の精選（小学部運動会を体育参観会へ）。
- ・会議資料のデジタル化←弊社はチームスで会議資料の共有
- ・教員でなくてもできる仕事を洗い出し、業務整理。留守番電話の利用。
- ・地域・PTA・企業とつながっていききたい。

(9) コンプライアンス委員会

ア 令和 6 年度の不祥事根絶に向けた取り組みについて（校長より）

- 校長 ・令和 6 年度不祥事根絶取組計画の説明
日頃から教職員同士で言い合えるようにしていきたい。
交通事故も多い。
わいせつ、体罰事案を無くすために自律した教職員をめざす。
ストレスチェック票もあるが、普段から気軽に言える雰囲気を作っていく。
生徒指導にかかるルールの説明。当たり前のことであるが確認事項として。
テーマを設定してざっくばらんに話す。
休憩時間を取れない現状。休憩時間も仕事をしている。休憩時間は気分転換の時間
にしたい。
色々なアイデアをいただきたい。学校のことで思いついたら電話、訪問いつでも。

- 副校長 ・地域と共に活動していくことが大切な学校に対していろいろなご意見をいただき
たい。次回からは PTA 会長をコーディネーターにして色々話し合いをしていく予定。

閉会